

VOL 49

平成29年11月1
日

広島市シニア大学院 OB会ニュース

発行責任者

OB会会長

伊藤泰彦

《 趣味の芸能発表会開催 》

第25回趣味の芸能発表会が9月30日(土)広島市総合社会福祉センターのホールで開催されました。開会式に続き、サークル発表、班別コーラス、踊り、楽器演奏等日頃磨いた腕前が披露されました。歌に踊りに楽器演奏にと熱演が続き、初お目見えのコント劇では思わぬ主役も出現したようです。今年はカープの優勝もあって「それ行けカープ」が数多くエントリーされ会場も盛り上がりました。



《 平和記念公園一斉清掃 》

ボランティア活動の一環として平和記念公園の一斉清掃に7月27日(木)の早朝から参加しました。A班30名、B班76名、シニア大学全体では288名の多数の方に参加いただきました。

松井広島市長から平和記念公園は世界平和を全世界へ発信する場所であり、世界の方をお迎えして平和を祈念するとともにおもてなしの場所でもあります。皆様のご協力をいただき原爆記念日を迎えることができ感謝いたしますと挨拶がありました。

《 米寿表彰式 》

今年度中に米寿を迎えられる方 18 名の表彰式が実施されました。
当日は 10 名の方にご出席をいただき、伊藤自治会長からのお祝いの挨拶の後、表彰状と記念品が贈呈されました。被表彰者を代表して 2 班、津田 巖さんから謝辞をいただきました。



《 日帰り旅行 》

9月12日(火)山口県の「秋吉台サファリランド」と「萩明倫学舎」のバス旅行が実施されました。



朝からの雨の中 3 台のバスで 111 名が山口へ向け出発。サファリランドでは雨も上がり、涼しさもあって猛兽たちが目の前で迎えてくれました。
明倫館では幕末に活躍した萩藩士の功績を目の当たりにし改めて感動しました。



「趣味の芸能発表会」を終えて

芸能部長 住谷利之

9 月 30 日（土）新しい場所に移り初めての「趣味の芸能発表会」が開催されました。開会式には来賓として広島市社会福祉協議会、円奈勝治常務理事のご臨席を頂き、お祝いの言葉をいただきました。広島市シニア大学院、大城徳守自治会長、広島市シニア大学、大久保治郎自治会長のご臨席を頂きました。伊藤自治会長の開会あいさつ、芸能部長住谷の開演挨拶により開幕しました。ステージでは熱演が続き大観衆の大きな声援を受け、演目は班別コーラス、サークル、楽器演奏、詩吟、民謡、舞踊に加え日頃の趣味を通しての個別参加等多彩でした。楽しい思い出に残る芸能発表会となったと思います。音響関係は昨年に続きクレセント清水企画に依頼し、音響担当者とともにいろいろとサポートしていただきました。準備には新しい場所に移り、芸能部の不慣れな役柄で不行き届きな点もありましたが、実行委員のリハーサル準備作業の手順、緻密な作業分担、時間割等で横断幕の

取り付け、ホールの椅子配置、投影設置関係等準備作業が行われ、その後テープ、CD の頭出し、合奏の音合わせが行われました。今年も 5 社の広告を得ることができ掲載しました。プログラムの編成に当たっては出演者の自主的な出演申し込みに添い、希望に沿いながら、出演依頼もせず、午前、午後の時間的な余裕を配慮しながら作成しました。最後は優美なタクトに心を一つにして「故郷」を全員で合唱し、本年度の第 25 回「趣味の芸能発表会」を締めくくることが出来ました。皆さんのご協力ありがとうございました。芸能部一同感謝申し上げます。

「コント劇」

広島市老人大病院

金子主計 1 班 31 期

昨年は「日向ひよつとこ踊り」をエロチックでない上品な女の色気を出す踊りで計画したが、いやらしい踊りと勘違いされたか、団員不満のため断念した経緯がある。

今年は多くの方に出演していただくことが望ましいと脚本製作を開始し

趣味の芸能発表会

た。ところが出演予定者の中から、脳梗塞で倒れた方が二人も発生。又出演をお願いしようとした人から辞退される方が続出したため脚本を作り直すことに。練習の時も、何人かは都合がつかず、揃わないままの稽古となる。「喜劇だからお客様に笑って頂けるためにも私たちは笑って演技をしよう」と。

舞台背景の「広島市老人大病院」の看板、診療科目 4 枚、時計等を製作。眼科検診表は買えば 1,600 円。だが、皿、ガラス瓶、飲料水キャップなど家中の円形品を使用して製作。

ドクター用白衣（聴診器付）二着は山形県から一泊二日 4,800 円でリース。

前日練習日、午後 1 時集合（一人欠席予定、もう一人体調不良になり欠席連絡有）役員全員会議始まり、会議終わり次第、一番目で練習をお願いし全員待機。

「芸能発表会」看板に赤白リボン装着などで、時間がどんどん経過。帰らなければいけない二人を含め全員イライラしながら待機。いざ舞台練習ができる様になったらコーラスのグループが先に練習開始。時間切れ、

とうとう練習ができないまま解散とする。情けないが喜劇集団だ。参加予定していた町内ゴルフ同好会コンペはこの練習のため参加できず。最高のゴルフ日和を棒に振ってまで来たのに練習できず。怒るまい。当日、集合写真撮影指定時刻に集まるもカメラマン居らず 15 分も遅れ。それでも笑顔。昨日、点滴の女性が心配。昨年、生死をさまよって大腸の手術した方も心配。待つこと、並ぶことは戦時中の配給制度時代に慣れていたが我慢も限界寸前。幕が開き、第一幕開始、会場からクスクスと笑い声が聞こえる。

第二幕、第三幕、第四幕と進みお客様の笑い声も聞こえた。無事終了。喜劇となっていたかは不明だが笑って頂いたお客様にお礼を申し上げたい。音響係・舞台係の方には大変親切にして頂きありがとうございました。



《伊藤自治会長祝辞》

祝賀式にご出席いただきましてありがとうございます。

八十八歳の米寿は寿ぎであり素晴らしいお祝いだと思います。私もせめて米寿まで元気でいたいと思つています。

米寿のお祝い

皆さんは昭和四、五年生まれですが、戦争の最中が少年時代で、小学生の高学年から中学生だったのではないでしょうか。戦争が終わっても食糧難で、しかも物資がなく苦しい中、社会に出て物づくりに励んでこられました。

この困難な時代に社会の一員としてやってこられ、苦しみ、楽しみ、嬉しさもあつたと思います。また、バブルがはじけいろいろな苦勞があつて今日まで来られました。

その後、縁あつて老人大学へ入学され活躍されるなかで英気を養われました。これからも行事に参加して頂き、青春時代を取り戻して頂きたいと思います。一〇年後には白寿のお祝いがあります。それまで頑張つて、OB 会で活動して頂きたいと願つてお

ります。我々も大いに期待しております。

《謝辞》

津田 巖 2 班 23 期

この度は、米寿表彰を賜り誠に有難く厚く御礼申し上げます。

米寿を迎えました十八名を代表して一言謝辞を申し上げます。

私たちは、戦前に生まれ、戦中に育ち、戦後の困窮を乗り越え、復興・発展期を経た後、突如バブル期へ突入するなど、目まぐるしい変化の時代を過ごして参りました。

そうして、高齢の域に差し掛かった頃、縁あつて当時の広島市老人大学に入学することが出来、今日に至っております。その間、多くの皆さんと交流し、学び、諸活動にも参加させて頂いたことで、心身共に喜びと活力を得ることが出来ました。米寿は一つの通過点として、これからもシニア大学院 OB 会の発展に向け、微力ながら努力して行く所存であります。どうぞ、これからも宜しくお願い申し上げます。

甚だ、粗辞でございますが、御礼の言葉とさせていただきます。

本日は、誠に有難うございました。

《米寿表彰を受けられた方》

岸水	満子様	一班 二四期
高坂	量道様	一班 三〇期
津田	巖様	二班 二三期
小滝	美幸様	二班 二三期
大田	一子様	二班 二五期
桑原	康之様	二班 二六期
鳴谷	マツコ様	二班 二七期
正路	律子様	二班 三二期
竹内	照美様	二班 三三期
山田	隆弘様	三班 二四期
木原	芳子様	三班 二六期
石浦	光恵様	三班 二九期
山本	政博様	四班 二七期
米原	斐子様	四班 二九期
西村	孝博様	四班 三〇期
迫	武子様	四班 三〇期
坂井	滋子様	六班 三六期
橋尾	四郎様	七班 三九期

《米寿を迎えるにあたって》

岸水 満子 1 班 24 期

米寿を歌う

米寿まで張詰め生きて来たけれど心身共に限界なりき
此の先を如何に生きべく迷いけり
老体を嘆く日々には有りき
足腰の弱り来たるは歳なのか
嘆き乍らも尚生きて行く
人間の愚かな言動嘆く我れ
世界の平和願つて止まぬ
今はたッピンピンコロリを願う身の
夢を希望の哀しき行く方

高坂 量道 1 班 30 期

戦争と共に育つた少年期の記憶は今でも脳裏に残っている。昭和 16 年長兄が召集され奉公袋を手に広島に入隊。間もなく太平洋戦争勃発、緒戦勝利に湧き九軍神が崇められる。

14 歳の年、同級生全員海軍少年兵を志願した他、満蒙開拓青少年義勇軍で渡満した者、多くは銃後の戦士として軍需工場等に就職。私は予科練の二次試験が大竹海兵団であり、同級生 5 名と卒業式返上で受験。不合格で青年学校に入ると同時に防空監視所に採用され、山頂で敵機の発見

に当たった。翌 20 年私は実業学校に進学、当時 3 年生は広島兵器廠に学徒動員中であつた。授業は概ね午前中で午後は松根掘りか開墾作業、就中配属将校による教練は厳しかった。6 月初の学徒動員で農業用溜池工事に従事、折しも戦況は沖縄陥落で一層緊迫化し、本土決戦が叫ばれる。8 月原爆投下で広島壊滅。更にソ連対日参戦、同夜福山空襲で大轟音。地が揺れ上空は真赤、戦争の恐怖を実感。15 日正午全校生徒集合の下、玉音放送を聴き大衝撃。戦後 72 年の集大成となす高齢者叙勲を拝受した。

桑原 康之 2 班 26 期

子供の頃田舎で、たき火をしながら、近所のおじさん達が「○○さんは 60 歳の誕生日をしてもうとうたそう、長生きよのう、わしらあのように長生きはようせんで」と話しておられるのを聞いたことがある。そのとき 60 歳まで生きるということは大変なことなのだと思うた。今自分を振り返ってみると何時還暦を迎えたのかは、大分過ぎてから気付いたもので、今は、早、米寿を迎えた。半世紀余りの間に人間の寿命は長くなつたものである。しかし 88 歳にもなると、いずれ必ずやってくる死につ

いて何かと気になるもので、この誰にお世話になるか考えさせられる。内閣府の調査では、半数以上の人が自宅を最後を迎えたいと考えているが、実際には自宅で亡くなる人は 1 割ほどで医療機関での死亡が 8 割近くあるそうです。住み慣れた我が家で家族に看取られて最期を迎えたいとは誰もが心の中で思うであろう。願がわくば介護施設等のお世話にならず、我が家で「トントン、ころり」と迎えたいものである。

鳴谷マツコ 2 班 27 期

昭和 5 年に生を受け、昭和 12 年当時の尋常小学校に入学。昭和 19 年から学徒動員で呉海軍工廠火工部工務係に配属され、お茶くみや各事務所への連絡書持参などに携わりました。昭和 20 年 3 月 20 日に呉軍港から皆さ

んと手を振って見送った戦艦大和が 4 月 7 日に鹿児島島の坊ノ岬沖で撃沈されました。

終戦を迎え、学徒挺身隊に帰宅命令が出て帰宅の途につきましたが、当日の夜は広島駅で一夜をあかしました。まだあちこちでもの凄いいでした。翌 16 日、芸備線で井原駅ま

で行き、そこからは現在の安芸高田市高宮町まで仲間 3 人と歩いて帰宅しました。その後、地元の農協に勤務の後、退職し結婚。昭和 31 年に広島へ転居し就職、良く働きました。夫は男の厄歳を境に、度々病気になる 4 度の手術。その度、付添さんをお願いすることとなり苦しい時期もありました。53 歳で退職後も、5 年間嘱託で働き、当時の中小企業庁長官から表彰して頂きました。

平成 12 年老人大学に入学、先輩方がとても親切でいろいろな事を指導して頂いた事を記憶しています。

26 期の方のお誘いでパソコンの勉強をし、17 年 11 月 1 日初めての OB 会ニュースを発行。23 期、26 期の有志の方の発案で、体力づくり、仲間づくりを目的にした歩く会、男の料理教室、グランドゴルフ、パソコンサークルがスタートし、現在も継続されている事に感謝しています。皆様に、お世話様になり有難くお礼を申しあげます感謝だけです。これから、体に気をつけ、もう少しの間、皆様と一緒に願っています。

山田 隆弘 3 班 24 期

この度は、米寿のお祝いをして頂

きありがとうございました。私達の青春時代は戦中戦後の世の中が混沌とした時代で、中学校に入学しても段々と戦争が激しくなつてくると、勤労奉仕が多くなり、戦争末期には全く授業はなく毎日勤労奉仕が続きました。また、この時代は食糧難で毎日空腹を抱えていました。学校の寮に入ってから食事といつても薩摩芋一個と一片のバターとか、大豆粕飯ぐらいで毎日空腹をかかえ勉強にも集中できないような状況で今でも忘れることが出来ませんが、この年まで生きながらえることが出来たことは、幸せであつたと思います。私は 65 歳で職を離れましたが、退職後を楽しく有意義に暮らしたいと思ふ趣味探しを始めました。公民館等の講座を受けることにしました。受講した講座は、詩吟、水墨画、書道、陶芸、植物講座、登山、放送大学などです。残念ながら教室が無くなつたり私の都合で長続きせずこれといった趣味を持つことが出来ませんでした。登山は 15 年間続けました。登った山は延べ 190 余りで楽しい思い出になつています。今は町内会の役員や少しの盆栽、町内ウォーキングなどに参加しています。残り少ない人

生を健康で自立生活ができるよう食生活と運動に気をつけていきたいと思っています。

西村 孝博 4 班 30 期

私は小さい頃から軍関係の学校に行く希望を持っていた。甲種飛行予科練に応募し無事合格する。昭和 19 年に勇躍海軍飛行予科練習生として防府海軍通信学校に入隊した。甲種飛行予科練習生の日課は、午前中毎日 90 分授業でモールス信号の訓練、午後は主に体力づくりの訓練で非常に激しいものである。私は普通科を卒業して高等科に行く予定であったが、直ちに実習部隊に行く事になる。私は第 14 期生 7 名と倉敷航空隊に行き約半年間実務についた。その後朝鮮の鎮海航空隊に転属を命ぜられる。門司港から陸軍の御用船に便乗する事になる。当時朝鮮海峡は米軍の機雷が多数布設されており非常に危険な状態であった。私は昭和 20 年 6 月 14 日 16 時に門司港を出航した。私達 7 名の戦友は、後部甲板に並んで座る。「皆んな死ぬ時は一緒に！」と話合っていた。出航して約 3 時間経った頃、船が米軍の機雷に接触し大首響と同時に船は轟沈し

た。私は気絶して以後の記憶はないが・・・広島出身の仲良しの戦友 T 君（彼は無傷であった）に後で話を聞くと、気絶している私に往復ビンタしても生氣にならないので、敬礼して別れを告げ、彼は海に飛び込み運良く魚舟に助けられた由、そして救助活動に従事していた時、T 君が海に浮いている私を偶然見つけて魚舟に助け上げた。T 君が「これは西村だ！」と叫んでいるのがかすかに聞こえたが・・・また直ぐに氣を失って後は皆目わからない。病院に運ばれ床に寝かされる。私はその後どのくらい経過したかわからないが・・・喉が異常に渴いて「水が欲しい」何とか言う様にして洗面台に行き立ち上がって鏡の我が姿を見る。顔は真黒で目だけギョロギョロ・・・本当に見苦しい姿である。漸く水を飲むとツーンと海水が鼻をついた。私はその時はじめて船が轟沈したと認識した。私は気絶して一度船と共に沈み、再び浮き上がったらしい。重油と海水が肺に充満して息苦しくすぐに氣を失う。病院の床で何日経過したかわからないが・・・T 君が私を探しに来て見付けすぐに M 旅館（出発前に宿泊）に連れ帰った。T

君ともう一人の戦友 K 君二人は私を入浴させ全身の重油を洗い落としてくれた。肺に充満していた重油も自然吸収され少しずつ楽になり何とか言葉が話せる様になる。二人の献身的な介抱と自身の生命力で漸く正常な身体になる。「私は運命というか・・・轟沈したが奇跡的に一命を取り戻す事ができた」。その後軍隊での通信の経験が縁で電気通信事業に約 50 年余勤務した。かえりみると「人間は本当に生かされている」と実感し、毎日感謝の日を送っている。

橋尾 四郎 7 班 39 期

1930 年（昭和 5 年）は、世界恐慌の真つただ中であつた。その後は（それ以前でもだけれど）戦争の続く時代であつた。日清戦争、日露戦争は明治時代。そして、第一次世界大戦は大正時代。さらに、昭和に入つて満州事変、日中戦争、そして第二次世界大戦とつづく、そして原爆そのような時代であつた。1945 年（昭和 20 年）いわゆる終戦。正確には敗戦（無条件降伏）となる。そして、その後、平和な時代が続く。その後さらに現代へ。（しかし戦争は各地で今でも行われているようだ。内戦、ゲリラ、テロ・・・しかし、

当面日本は平和）ー平和な時代は、喜ばしいことー平和が長く続くことを願ってやまない。

《秋吉台サファリランド

と秋明倫学舎》

研修部長 米山正春

研修部第一回目の行事を 9 月 12 日（火）に実施しました。

当日は早朝の大雨による JR の遅延があつたにもかかわらず 111 名を乗せたバス三台は山陽道を長門路に向けてほぼ定刻通り出発しました。

「秋吉台自然動物公園サファリランド」は昭和 53 年に開園し、約 70 種、七千頭羽の動物が飼育されています。

一般の動物園とは違い、壮大な大自然のなかで暮らす野生本来の動物達の姿を目の当たりにでき大感激でした。

平成 24 年にはエンチメント大賞（飼育する動物の環境を良くする取組を評価）を受賞しています。

昼食は、「海鮮村・北長門」でボリウム満点の海鮮料理をいただき、第二の目的地へ向けて出発しました。「秋・明倫学舎」は全国屈指の規模を誇った藩校です。その跡地に建て

日帰り旅行

られた「旧明倫小学校校舎」は平成 26 年まで授業が行われていました。この日本最大の木造校舎が「萩・明倫学舎」としてオープンしています。岡山藩の閑谷学校のような重厚さは無いが、江戸時代前期に建てられた講堂は国宝に指定されています。本館展示室では明倫館の歴史と維新での萩藩の役割や活躍ぶりをボランティアの方に案内して頂き、良く理解することが出来ました。

企画段階では暑さを、当日の朝は大雨を心配しましたが、幸い雨にも殆ど合わず、当地の気温も 23 度程度と絶好の旅行日和となりました。皆様のご協力をいただき、何事も無く予定通り終了できました。心より感謝申し上げます。

「サファリランド&萩明倫学舎」 日帰りの旅

藤村摩智子 6 班 37 期

研修旅行案内の「サファリランド」の文字が目に入り、早速申し込む。北海道クマ牧場や安佐動物園等で見えた動物以外は映画、本の世界である。実話が大好きなので NHK の「ダーウィンが来た」を良くみる。撮影はトリックがあるようにも思うが、虎、

ライオン等自然の森林で獲物をしとめるシーンが外国の撮影に多くある。強い動物が生きる場面は迫力がある。今年の夏サファリで、車の窓を開けて熊に餌を与えようとした人が負傷したこともあり、園内に入ると窓は決して開けないで下さいとのアナウンス、猛獣危険の立札もあちこちにある。大自然の中で最初の出逢いはアフリカ象。バスの正面へゆつたりつつそりと近づく、一瞬「ヴァ」と歓声。シャッターチャンス逃すまいと連続で押し即刻見ると運転手の帽子。失敗だ!! 再度チャレンジするも象は後ろ向だ。巨大な象は私を有頂天にさせ知らぬ間に童心に帰っている。熊のゾーンでは熊牧場と違い餌を頂戴するしぐさもなく、餌の取り合いもなく、ごろんと寝そべっている。シマウマは縞柄が本当に美しい。チーターも木の横でのんびり他の動物を追つかけないかと心配してよく見ると高圧線が低く張つてあるので安堵した。次のゾーンはライオン。さすが鋭い足、檻の中にいたけど子供頃から人間慣れしているのか、空腹にさせてないのか、動じない。次はホワイトライオンとホワイトタイガー。檻の中に三匹並んで腹ばい、さすがにしたたか、毛並はみごとで

艶やか、この家族は王様だと思わせる。私たちの満足した様子に、今日は嬉しかったよとガイドさんもお満悦。最後の見学地、萩明倫学舎へ。世界遺産 2 号館の一室一室に貴重な資料が展示されており、学校で学んだ事を思い起こす。生涯忘れ得ぬ楽しい旅行となり研修部の皆さんには感謝でいっぱいです。ありがとうございました。

《 一 班 》

班長 佐々木浩二

皆さんの日頃のご協力に感謝です。同期なら大学・院時代は班内の交流もあり親しいが、OB 会では期が離れると講座も一緒に受講し、住区も近隣同志だが意外に馴染みがない。29 年度から班内交流促進の方針もあり、期を越えて親しくなれないものか? 最初の「コーラス」練習行事は 3 班と協力し、早めに段取り、多くの人に声をかけ誘った。1 班より 20 数名、3 班と合わせ 50 名近い参加があり、舞台狭しと盛り上った。更に、8 月講座日のコーラス練習後、1 班の初行事は福屋屋上ビアガーデンで懇親

班活動の紹介

会を持った。15 名の参加があり、年齢は 75 ～ 87 歳、解放的な場でおしゃべりに花が咲いた。人生を重ねての意見交換は味わい深く元気のである話も多かった。交流会への期待も大きい。今後は太田川河川敷でのグラウンドゴルフ、年明けの懇親会などを計画中です。班内の多くの皆さんのご参加、大歓迎です。行事メニューも替えて多くのひととの交流促進の発端となれどと思っている。



《 二 班 》

班長 吉岡 美枝子

二班は総勢一〇三名で男性二九名、女性七四名の構成となっています。今回の芸能祭二、四班のコーラスの

出演準備、出演依頼はお手伝い役でした。反省会と懇親会を一〇月の講座の後に茶話会を計画しております。合わせて、今後の班活動についても打合せする予定です。

皆さん元気で活躍されておりますが、行事参加では、体調不良や知らない人と話をしても楽しくない、日時を決めて集まるのがストレスになる等の難しい面もあります。

＊班内の素晴らしい方を紹介

・川本 勝之さん（85歳） 27期
紅寿会（ゴルフ）の代表として長年活躍。

・鳴谷 マツコさん（88歳） 27期
グランドゴルフ、パソコンサークルで責任者を長年務める。

・竹内 照美さん（88歳） 33期
リズム体操、広島支部発表会等舞台で長年活躍。

・竹本 チエ子さん（86歳） 33期
リズム体操、広島支部発表会、広島文化交流会館 H B ホール、広島グリーンアリーナ等舞台で長年活躍し、最高齢者として八年間出演。

《三 班》

班長 古太刀 勲

シニア大学院 OB 会で最多の会員が

在籍している班です。皆さんはお元気でよく集います。月例の講座の出席率は 71 % です。この 6 か月の全講座出席者数は 39 名で全体の 31 % を超えています。また、各種懇親会等の参加率も比較的高いようです。だが、この夏の「平和記念公園一斉清掃」の参加率は極端に低かったです。在籍者の約 65 % が南区の方ですので距離の問題ではありません。さて、年末の「平和公園一斉清掃」の参加率はいか程になるか心配です。話題は変わりますが、3 班全体にかかわる行事ではありませんが、9 月 24 日（日）「安芸区の集い」（7 班天畠重博氏主宰）が開催されました。ここでの出席率は大学、院、OB 会の全出席者数（38 名）の 34 % 超が OB 会 A 班の皆さんでした。講師は矢野町在住の升味正光医師でした。どなたも関心の高いことなので質問も多くあり充実した集いでした。何事もよく集う 3 班の皆さんです。

《四 班》

班長 田坂善治郎

我が班は、15 期から 34 期までの 106 名で構成されている。男性 40 %、女性 60 % の比率で、最高年齢は 93 歳で、

70 歳代が三分の一を占めている若々しい集団である。

趣味も多彩で、趣味のサークル活動で代表を務める傍ら研鑽に励む人、サークルに入り仲間と楽しく過ごす人、一般市民と伴に古典芸能等を勉強する人と様々である。また、登山、ウォーキング、グランドゴルフなどに参加して体を鍛えておられる人もいます。ボランティア活動では先の平和公園清掃の時、他の集団と一緒に作業を熱心に行い、私達のグループの作業終了に気づかれなかった方もおられた。多くの人が口外されないけれども、各種ボランティア活動に参加されておられると聞き及んでいる。健康年齢を延ばすべく家に籠らず、他人と接し、心と体を鍛える気風が盛んな四班である。

《五 班》

班長 荒木 紀雄

OB 会の中では、班員が少ない班ですが、「自治会の行事には、最優先で参加する」との、伝統的な流れを受けて、各行事には多数の参加協力を頂いています。

先輩諸氏のご指導を受けながら、今

年も頑張つて行こうと思つています。現在は、芸能発表会では、多数の参加者で観客の皆さまに元気な歌声が届けられるよう練習に励んでいます。その他、班独自の行事としましては、8 月のビアガーデン懇親会、色々な自治会行事の間をぬつて、グランドゴルフ大会を、11 月と 3 月に実施しています。グラウンドゴルフは、初めての方にも対応したルールと用具の準備により、三十名を超える方に参加して頂ける楽しい行事となっています。元気で、仲良く・楽しく、健康づくりを目標に、今後も積極的に自治会行事に参加し、頑張つて行く 5 班で有りたいと思います。

《六 班》

班長 佐々木 保江

芸能発表会の出演申し込み用紙を受け取り曲選びにかかる。班全員で選ぶことは無理なため、班長、副班長で数曲持ち寄り意見交換をする。元気な曲や賑やかな曲が好い「東京ドドンパ娘」と「いつでも夢を」の 2 曲を選曲する。次は CD と歌詞カードの作成をどのようにするか講座の前に時間を作り数度の話し合いを行う。作成は、夫々その道にたけた

方に気持ちよく協力して頂き何とか形になった。8 月 14 日、1 回目のコーラス練習は 51 名の方の参加があり椅子が足りない状態であった。9 月 13 日、2 回目のコーラス練習日には立派な歌詞カードも出来上がり 42 名の方が参加して下さり無事終わる。最初、指揮者は無くてもよいとの意見もあったが、やはり必要だと言うことで無理をお願いして引き受けていただく。何分にも練習時間が短くて本番が心配ですが、6 班の皆様が楽しく合唱出来ればそれで良いのではないかと思っています。

《七班》

班長 村上 数枝

大学では、5 班と 6 班だった私は、現在班員 87 名の大所帯の班になりました。月に一度の講座日に出会っただけではお互い顔を覚えることも容易ではない中、芸能祭のコーラスの練習は仲間と一つの目標に向きあうことで少しずつ絆を深めることが出来たのではないかと感じます。当日はたくさんの方々が舞台で元気に声を合わせて、練習の時より一番良かったと感じました。毎年一期ずつの出入りがありますが、同じ班と

なつたご縁を喜び、B 班の 5 年間で楽しい思い出となるよう微力を尽くしたいと思っています。12 月には忘年会を兼ねたレクレーションを計画しています。一人でも多くの皆さんの参加を頂いて一層の絆を深めましょう。

《八班》

副班長 井尻芳信

私達八班はコーラス大好き人間の集まりです。大学、大学院の 5 年間の大学祭の「コーラス」で絆が強まったと感じています。毎年 6 月から大学祭までに 8 回の練習をして本番に臨みました。今年、OB 会に入会してもこの思いは変わらず、6 月から 9 月の芸能発表会まで 6 回の練習を重ねて来ました。こんな「コーラス」大好き仲間の松野勝さんが 8 班のためにすばらしい詩を書いてくれました。コーラス指揮者の田中則子さんがこの詩に曲を付けてくれ「八班の絆」というすばらしい歌が出来ました。現在はコーラスの練習の時、みんなで歌って一生懸命覚えていきます。来年の「芸能発表会」に皆様にお聴かせする事が出来るかと思っています。

《平成 29 年度講座紹介》

* 11 月度講座

- ・テーマ 「アンデスの風と響き」
- ・講師 「ティエラヌエバ」南米アンデス音楽演奏グループ
- ・内容 アンデス地方の伝承音楽にヨーロッパの現代的な影響を受けフォクロレ音楽として受け継がれてきた民族音楽をアンデス地方で生まれた珍しい楽器で演奏して頂きます。アンデス地方の民族楽器演奏で日本と真反対に位置する遙か遠い南米へ私達をいざなつて頂きましょう。

* 12 月度講座

- ・テーマ 「ボランティアについて」
- ・講師 ボランティア情報センター（広島市社会福祉協議会）
- ・コーディネーター 杉野由美・小松清志他
- ・ボランティア活動実践者
- ・内容 「ボランティア活動」の必要性をもつと身近に感じ、そして行動に移すチャンスとなればと・・・今回はボランティア活動のノウハウを様々な角度から講義して頂きます。実演もあるようですので楽しみながら学びましょう。

* 1 月度講座

- ・テーマ 「健康長寿・不老不死の極意」
- ・講師 松村循環器・外科医院 理事長 松村 誠
- ・内容 高齢者につけて有意義な健康管理に関する講義です。風邪やインフルエンザが流行する季節となりましたが私達高齢者が健康長寿に暮らせるその極意をしっかりと教えて頂きましょう。

《平和記念公園一斉清掃》

- ・実施日 平成 29 年 7 月 27 日（木）
- ・OB 会参加者 103 名

- ・シニア大グループ 288 名（大学 116 名・大学院 66 名）

事業部の活動状況

今年は「平和記念資料館本館」の改修工事に伴い開会式場が例年と異なつて「資料館南側駐車場」となりました。又大型の清掃用具（ホウキ・クマデ・テミ等）の配布は行われませんでした。その様な状況の中、早朝からの清掃作業に汗を流して頂きました OB 会の参加者の皆様に厚く御礼申し上げます。綺麗になつた平和記念公園内と一生懸命清掃作業をさ

れた皆様の汗が共に朝日に清々しく輝いていたのが印象的でした。ご協力有り難うございました。

《A B 班合同懇親会》

6月21日(水)と7月19日(水)の二回、国際ホテルで A B 班合同の懇親会が開催されました。新役員の紹介に続いての懇親会では、和氣あいあいとした雰囲気の中で班を超えた交流が図られました。にわかグループやテーブル単位でのカラオケで盛り上がり、まさに宴たけなわの3時間はあつという間に過ぎました。

《歴代会長懇親会》

7月14日(金)歴代の会長総務部長会が開催されました。16名の参加があり、懸案事項や今年度の重点目標等を説明した後、打合せを行い課題提起や提案を頂きました。

《芸能発表会反省会》

10月13日(金)国際ホテルにおいて芸能発表会の反省会を兼ねた懇親会が開催されました。一時間に亘り各部門から良かった点や改善点が出され次回に生かされることになりました。全般的には新しい施設ながら

成功裏に終了したと総括されました。

《中間役員会》

10月18日(水)大会議室で全役員出席の中間役員会が開催されました。上半期の実施状況と下半期に向けた取り組みが、各事業部長から報告されました。講座では、途中で休憩を入れストレッチ体操も始まり出席率も向上し始めました。受け付け業務も別室で行いスムーズになりました。プロジェクターを活用し各事業部からのお知らせ等を行ったり、旅行案内を手渡す等会長推進の A T M もボツボツですが回転し始めました。

《いきいきポイント制度》

9月から広島市が導入した「いきいきポイント制度」がスタートしました。OB 会もこの制度の対象となりポイントの付与について、役員会や講座日に制度の説明が行われました。ポイント対象や押印で当初は戸惑いもありましたが、順調に実施され始めました。



《男の料理教室》

宮崎 淳 1班 34期

「食べた!! お腹いっぱいじゃ」満足げな声が各班から聞こえてくる和やかな雰囲気である。(常時4班で活動)本教室は発足以来10年が経過し、諸先輩方の教えを継承し鋭意進めています。この度図らずも代表を引き受けましたが、今後はセンスのある若い方へバトンタッチしたいと思っています。講師は、現役時代に料理長として活躍された方、並びに経験豊かな子供あしらいの上手なユニークな方、お二人から楽しく指導を受けています。教室は、月1回の開催で1月・8月は休会としますが、当該月は時間を設け意見交換会を開催、会員相互の親睦を図っています。メニューは反省会等で希望を述べ合い、意見に沿うようアレンジしていただいています。食材は、吟味されたものである事は勿論です。教室は設備に恵まれ、他方に自慢できる会場であります。調理に興味のある方、又は男子厨房に入らずに実践されている方、一度見学においでください、歓迎いたします。

訃報

明賀 彦太様(78歳) 1班 34期
平成29年6月16日

田村 和子様(83歳) 2班 27期
平成29年7月19日

山岡 祥子様(81歳) 4班 29期
平成29年7月27日

ご逝去されました
会員一同謹んでお悔やみ
申し上げます

《編集後記》

芸能祭、日帰り旅行、米寿祝賀会、懇親会と盛りだくさんの行事が立て続けにありました。加えて「いきいきポイント」も始まり、役員のみならず会員の皆さんもお疲れのことと思います。今回は、皆さんの活躍の様子を取り上げてみました。身近な方の思われぬエピソードが発見できるかもしれません。

文化部員一同